

OSAKA Titanium technologies Co.,Ltd.



2016年10月31日

各位

会 社 名 株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ 代表者名 代表取締役社長 杉 﨑 康 昭

(コード番号:5726 東証第一部)

問合せ先 総務部長 土井 卓

(TEL. 06-6413-9911)

平成29年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と決算値の差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2016年4月28日に公表しました平成29年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と、本日公表の実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績等の動向を踏まえ、2016年4月28日に公表しました平成29年3月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想値と実績値の差異について

(1) 平成29年3月期 第2四半期累計期間の業績予想値と実績値の差異 (平成28年4月1日~平成28年9月30日)

(1/90 = 0 1/30 1 1/90 = 0 0/3 0 0 1/9									
	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益				
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭				
前回発表予想(A)	19, 200	△300	△300	△400	△10 87				
第2四半期累計期間実績(B)	17, 964	△418	△1, 343	△983	△26 73				
増減額(B-A)	$\triangle 1,235$	△118	△1,043	△583	_				
増減率(%)	△6.4	_	_		_				
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	23, 569	50	552	327	8 90				

(2) 差異が生じた理由

売上高につきましては、円高による影響を主体に前回予想値を下回りました。また、営業利益につきましては、売上高の減少を受けコスト合理化等の一層の収益改善に努めたものの、急激な円高による影響を吸収しきれず前回予想値を下回りました。経常利益および当期純利益につきましては、営業利益の悪化に加え、営業外費用に円高による為替差損を計上したこと等により、前回予想値を下回りました。

2. 業績予想の修正について

(1) 平成29年3月期通期業績予想数値の修正(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 42,300	百万円 2,000	百万円 1,900	百万円 1,000	円 銭 27 17
今回修正予想(B)	38, 200	1, 300	400	100	2 72
増減額 (B-A)	△4, 100	△700	△1,500	△900	
増減率(%)	△9. 7	△35. 0	△78. 9	△90.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	41, 149	△1,643	△2,058	△8,840	△240 25

(2)業績予想数値の修正理由

売上高につきましては、今後も為替相場が円高基調で推移すると見込まれること、チタン事業において一般産業用展伸材の需要が当初予想を下回る見込みであること等から4月時点の予想より販売数量が減少すると見込まれること等により、前回予想値を下回る見込みであります。

営業利益につきましては、売上高の減少見込みを受けコスト合理化等の一層の収益改善に努めるものの、円高の影響や販売数量の減少、エネルギー価格の上昇に伴う支払電力料等の増加影響により、前回予想値を下回る見込みであります。また経常利益および当期純利益につきましては、営業利益の悪化に加え、円高による為替差損の営業外費用への計上等により前回予想値を下回る見込みであります。

なお、上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以上